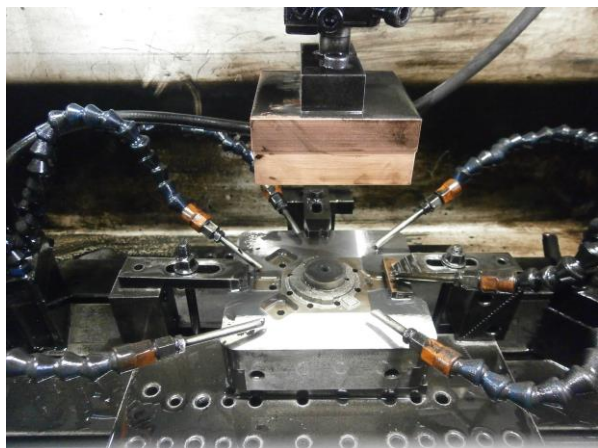
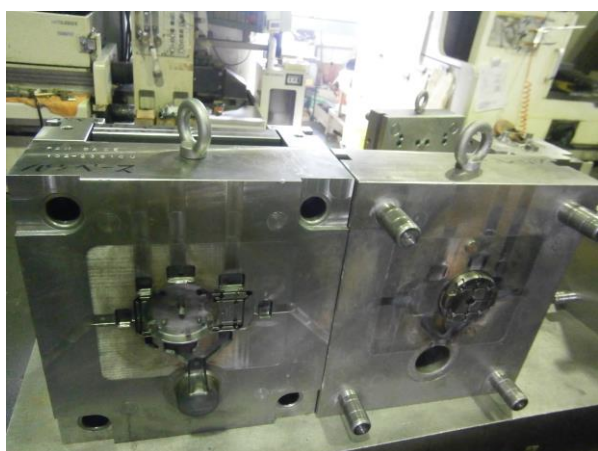


(株)大脇金型製作所

大量製品を製造する時に使う金型を作っている従業員10名の会社です。金型はたい焼きのプレートを想像していただくと分かりやすいです。金型には強度が必要なため、特殊な金属を使って作られ、誤差は1/100~5/100mmしかありません。



<主な製品づくり>

金型は製造する製品の設計図をもとに、金型の設計図をコンピューターで作ることから始めます。金型はとても複雑な構造をしているため、通常は1か月以上かけて作りあげます。早くても3週間はかかる大掛かりな製品です。一度製造すると何度も製品を製造できるため、大量製品を作ることに向いています。

主にアルミ製品を量産するための金型を試作しており、カメラなどの光学関係の部品や車のエアコン、農耕器具の部品の金型を製造しています。

<会社の強み>

大脇金型製作所には金型を製造するために必要な機械が揃っているため、大きなものから小さくて精密な金型まで製造でき、外部の企業に発注する必要もなく検査まで行えます。また、従業員のほとんどが設計図の作成や金型の製造など複数の業務ができるため、一度に注文が来ても対応でき、難しい注文もほとんど断らないようにしています。

(文責：専修大学経済学部遠山ゼミ 原布裕子)